

NEWS LETTER

2018
Vol. 92
TAKE FREE

News Letter

Vol. 92

2018年9月1日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:itokyo@takara-univ.ac.jp

Student File
File.05 芋川 茉奈

Teachers Pickup
篠田 雅人 助教

マンガ連載
『ツカまんっ!』第五稿

HOT TOPICS

授業潜入記
No.05 水墨画

新宿クリエイターズ・フェスタ2018

今夏、宝塚生の作品が新宿をジャック!!

宝塚祭

10.7 (日) 8 (月)
2018年 10:00~17:00

当日入場特典

浴衣or甚兵衛で
来てくれた人には
プレゼントが……!



宝塚大学東京メディア芸術学部
スクールカルチャーマガジン

NEWS LETTER Vol. 92

≡ CONTENTS ≡

巻頭特集

新宿クリエイターズ・フェスタ2018

この夏、宝塚生の作品が新宿をジャック!!

Student File

芋川 茉奈 さん

Teachers pickup

篠田 雅人 助教

連載マンガ

『ヅカまんっ!』第五稿

HOT TOPICS

授業潜入記

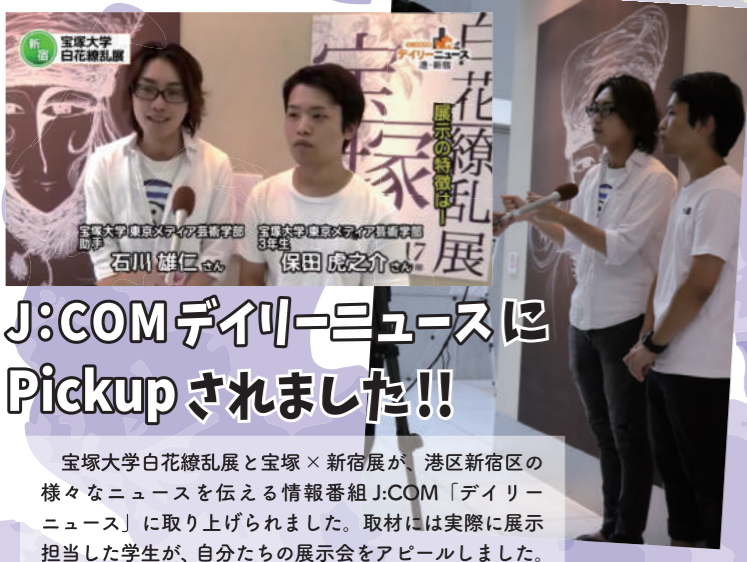
水墨画



宝塚大学白花繚乱展設営の様子

新宿区と協同で制作したアート作品や展示会をまとめたパネル展示をギャラリー“みるっく”にて8月23日(木)まで行いました。新宿区の健康づくり課で使用されているキャラクターの制作資料や、東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課と制作したトリックアートなど、今までどのような作品を新宿という舞台で展示してきたのか振り返りました。

展示物の制作や、実際の施工はメディアデザイン領域の学生が担当しています。



J:COMデイリーニュースにPickupされました!!

宝塚大学白花繚乱展と宝塚 × 新宿展が、港区新宿区の様々なニュースを伝える情報番組J:COM「デイリーニュース」に取り上げられました。取材には実際に展示担当した学生が、自分たちの展示会をアピールしました。



新宿クリエイターズ・フェスタ2018

新宿クリエイターズ・フェスタ2018 CM映像 @フラッグス、アルタ、ユニカ、ルミネエスト

今年8回目となる本イベントの大型街頭ビジョンとデジタルサイネージの映像CMをメディアデザイン領域の学生が手掛けています。映像をつなぎ合わせ編集するだけでなく、実際にアナウンスの声を録音するなど、より伝わりやすくするための工夫がされています。実際に、新宿駅南口のフラッグスビジョン、フラッグスデジタルサイネージ、東口のアルタビジョン、ルミネエストデジタルサイネージ、大ガード横のユニカビジョンにて10月8日(月・祝)まで放映されています。



毎年、夏に開催される新宿区のアートイベント「新宿クリエイターズ・フェスタ2018」で宝塚大学は、学生と教職員が一丸となり数多くの作品発表を行っています。ここでは実際に開催された展示会をまとめました。まだ行われている展示もあるので、是非チェックしてみてください!!

期間 2018年8月1日(水) - 10月8日(月・祝)



本学の特任教授である松本零士氏の壁画と、クリエイターとしての第一歩を踏み出す、1年生が授業で制作した『エゴバッグ』の展示です。揺らぎが除かれてしまいがちな現代において咲き乱れる学生の作品は、これから予感させるものです。宝塚大学が育てる大輪を多くの人に見ていただく貴重な機会になりました。

展示は学生が展示物の加工、施工まで行っていました。9月17日(月・祝)まで、東京都健康プラザハイジアにて開催しています。

宝塚大学白花繚乱展 @ハイジア



ツカまんっ!展@みるっく



現在本誌で連載中の漫画力向上漫画「ツカまんっ!」の特別展です。「これを見れば漫画が描けるようになるかも...?!」をテーマに、マンガ領域3年生の大神零次に誘われて「宝塚大学総合漫画研究所」に入部した1年生の古鹿未来が、零次先輩の熱心指導のもと漫画の描き方や楽しさを学んでいく漫画です。

この特別展では、現在までの話、キャラクターたちの設定やラフ画などここでしか見られない資料を9月27日(木)までJR新宿駅大ガード下のギャラリー“みるっく”にて行っています。



Student File

東京メディア芸術学部でクリエイターを目指し、頑張っている先輩たちを
ファイリング。過去の憧れ、現在の努力、未来の夢を赤裸々に公開します！

File.05

いもかわまな
茅川 菜奈

東京都出身。1996年生まれ。
クラーク記念国際高等学校卒業。
イラストレーション領域4年生
イラストレーション、
グラフィックデザイン等を勉強中。



= student works =



①「街」：授業の課題で米津玄師というミュージシャンの「街」という曲を取り上げCDジャケットカバー、中のブックレットや歌詞カードをデザインしました。曲のイメージからタイトルのロゴをデザインしています。②③「ロゴデザイン」：自主制作でロゴデザインをすることが多いです。文字のかたちとイメージを繋げて考えることをとても面白く感じています。

自分の興味に最も一致していることを学べるのが宝塚大学だった

物心ついた頃から絵を描いているような子どもでもでした。同年代の親戚の子どもたちと祖母の家に集まるとよく余ったチラシの裏に絵を描いていました。当時は動物の絵ばかり描いていましたが、小学生の頃にマンガを読み始めてからは作品の登場人物など人を描くようになりました。



『HUGっと!プリキュア』
大人も忘れてはいけないメッセージが詰まっていると思います。人が頑張っている様子を認めることって大事だな、と素直な童心に戻って感じるポイントが沢山あります。

宝塚大学のことを知ったのは、高校3年生の夏に出席していた進学相談会に行ったことがきっかけです。絵を描くのは好きだけれど進学のことを考えていなくて、そんな時に「マンガやイラストレーションを学ぶことができる世界もあるのだな」と新鮮に感じました。他の美術大学のこと調べましたが、自分の興味に最も一致していることを学べるのはここしかない、オープンキャンパスや学園祭に参加して確信を持ちました。受験を意識したのは入試間近でしたが、無事イラストレーション領域に入学することができました。

イラストレーションを学びながら湧いたタイポグラフィへの興味

大学に入ってから苦戦したのは、アナログ画材を扱うことでした。

いつでも容易に修正ができるデジタルでの制作とは異なり、水彩絵の具やアクリル絵の具はひと筆ごとのコントロールにとても気を遣う必要があります。

お湯に浸けて柔らかくしながら成形するプラスチック粘土を使用して半立体作品を制作する機会もありました。いかに自分の作りたい形を実現するか試行錯誤を繰り返しました。課題を終えた後に「こうしたらもっとうまくできたんじゃないか」と反省点が沢山出た良い機会でした。大学入学前からパソコンの制作ソフトに慣れている方も多いと思うので、宝塚大学への入学を検討されている皆さんは自分の手で作品を直接作る体験もしておく、役に立つと思います。



これまでの制作体験をもとに、宝塚大学での学びを語る茅川さん。

さまざまな領域を横断できるのがこの大学の特徴です。私もイラストレーション領域以外の授業をいくつか受けていくうちに、「デザインをすることが楽しいと思えるようになっていきました。特に3年の頃はロゴや文字などいわゆるタイポグラフィックデザインに興味があり、自主制作でも多くの作品を手がけてきました。

きっかけとなったのは2年の前期に受講した『イラストレーションII』のCDジャケットデザインの課題でした。とあるミュージシャンの「街」という曲を取り上げたのですが、さまざまな街の風景があるなかで彼の音楽が一番ぴったりなのは、都会の電線やビルなど細く水平垂直なラインのイメージだと考えました。そこで自分が撮影した写真を用いて、「街」という漢字を水平垂直の線

と斜め線という最小限の形にデフォルメしてデザインしました。歌詞カードやブックレットも制作し、それまで全く興味がなかった文字を扱う楽しさに目覚めたことが現在の制作にも繋がっています。

所属領域にこだわらず作品を作りたい

現在とりかかっている卒業制作では、近現代の日本文学作品のいくつかを取り上げてブックカバーのデザインを行っています。例えば太宰治の「人間失格」や梶井基次郎の「檸檬」など、内容に深みのある作品をカバーとタイトルのロゴデザインという限られたスペースでどのように表現するかが課題だと思っています。

これまでイラストレーション領域で学んできましたが、卒業後も絵を描くことにこだわっているわけではありません。でもイラストレーション領域に所属していることが現在タイポグラフィックデザインに興味があること、作品の作り方に関係していることは確かです。

現在興味ではまっている2.5次元ミュージカルやアニメの実写作品など、他の人が作ったものに素直に感動している瞬間が好きです。それと同じように、自分の作品を作るときも心が動くことを大事に、今後もジャンルにとらわれずに制作できればと考えています。



ミュージカル『忍たま乱太郎』

マンガが原作の「2.5次元ミュージカル」は空間の中で実際の人間が演じることで「コマの外の出来事も見ることができる」というワクワク感が好きです。

篠田 雅人 助教

学習院大学経済学部卒業。東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。専門は、高等教育論、大学経営・政策、IR、FD・SD。著書「人文系学士課程教育における卒業論文がもたらす学習成果の検証」(共著)他

東京メディア芸術学部在籍している講師たちをPickup。現場で働く講師たちに、大学での活動のほか、外部での仕事を交え、「今の皆」に伝えたいことを語っていただきます。



収集したデータの分析・解釈を大学の未来につなげる仕事

今年から教学IR担当として宝塚大学に着任しました。IRとは「Institutional Research」の頭文字で、大学内で収集した様々なデータの分析・解釈を通じて、大学における教育活動の改善などに結びつける仕事です。日本の教育機関ではここ数年で浸透しはじめた、比較的新しい取り組みです。

例えば、今年の前期最後の授業で1年生のみなさんに「高校までの学習習慣」や「大学に入ってから身につけたと思う力」などを質問した「学修行動調査」を実施しました。このアンケート調査の回答から得られた主観的な評価や授業の成績などをもとに、どのような意識や行動が学修成果の向上に繋がるのか、といったことを今後数年間にわたり分析していきます。このような取り組みを行うことで、今後大学としてどのような改善をしていけばよいか考えることができるようになります。

授業では、1年生向けの「表現思考」を担当しています。作品を創る過程ではしっかり考えることが必要なので、この授業は「考える習慣」を身につけることを大切にしています。今年から始まった授業なので教員同士、より良い授業にするためのやりとりを重ねています。

表現に向き合う覚悟を持った人が集まる場所

宝塚大学以外にも「学生と先生の距離が近い」と謳う大学は数多く存在します。しかし、東京メディア芸術学部は、建物一つに全てが集約されている非常に小規模なキャンパスです。また芸術系大学ということもあり、学生と先生が一丸となってプロジェクトに取り組み機会もあります。同じ志を共にするという経験ができるので、真の意味で「距離が近い」と言えるでしょう。学生と先生が互いにしつかり名前を呼んで挨拶し合う光景が日常にあるというのは、他の大学にはあまりない、とても貴重なことだと思います。表現に関わることにおいては、論理的な裏付けを持つことももちろん大事ですが、理屈だけでは説明できないことも沢山あります。そこに向き合う覚悟を持った人がこの大学には大勢集まっていると思います。それは、授業だけでなく、学生と先生が様々な機会を通じて共に過ごすことでさらに醸成されていくのかもしれない。

「なぜそうなるのか」を考え、挑戦や失敗を繰り返す

何かを実行する時には過程があり、どうすればいいか考えることが必要です。主観だけで最後まで辿り着ける人はごく一部です。ほとんどの人は他者と関わりながら作ることになります。私が学生に向けたアンケート調査を作る時も、多くの方と議論を重ねながら、じっくり作ります。他者と協働しながら作品を作るとはどういうことなのか、活躍している先生たちから学んでほしいと思います。

私が小学生の時、「分数の割り算がなぜ逆数の掛け算になるのか説明してください」と先生から訊かれました。それまで、大人から「なぜそうなるのか」と問われたことがなかったので衝撃を受け「なぜそうなるのか」と考えることは、とても大事なことで気づきました。それは、大学教育が目指している「客観的・多面的なもの」の視点を身につけることにも通じています。

また、社会に出る前に挑戦や失敗を繰り返していいというのも学生生活の醍醐味です。大学には吸収する価値のあるものが四方に広がっています。皆さんには、できるだけ多くのことに挑戦できる場として大学を存分に活用してほしいと思います。

Favorite



『孔子「論語」』

中学生時代、白文帳に筆で『論語』を書き写すという印象的な授業がありました。学ぶことの本質を紀元前500年頃の哲学者が論じていることに感銘を受けてから約30年。振り返ってみると、自分の人生観に大きな影響を与え、実際の人生の歩み方もその通りになっているところが多いと感じています。



『プロ野球観戦』

埼玉県生まれ、人生の半分以上は東京在住ですが、名古屋に本拠地を置く中日ドラゴンズのファンです。今年初めに亡くなった星野仙一さんが最初に監督に就任した時、「いいものは褒めるが、ダメなものはダメ」、時には選手に「鉄拳制裁」をためらわないというメリハリの利いた方針を立て、チームを大改革しました。その星野監督に惹かれて以来、30年以上ファンを続けています。

とことりあえず
PCのセットアップとは
やっておいたよ

ありがとうございます
あさつき先輩!!
自分じゃさつぱり
わかんなくて...

ご苦労
かおる

用は済んだ
帰れ!!

お前寸法測らず
家具とか買う?
タイプだろう?

うっ...!!

どこ押すか
わからないなら
それが環境設定だ!!

まずウインドウ!
必要なものを
見やすい位置に
するといいぞ

「サブツール」内の
タブ分けは
分かりやすく名前を
つけるといいぞ!

「ペン入れ」「塗り」
「トーン削り」や
「背景ブラシ」とか
きちんと分けておけよ

タブの増やし方

引っ張る!

選択して...

わー!
探す時間が
めっちゃ短縮
されますね!!

わああ!!もう
どこ押しているのか
全然さつぱり
わかんないです!!!

バア

もう自分の
PCなんだから
ビビんなよ!!
せつかく俺の
中古ペンタブ
くれてやったん
だから早く使え!

描く前の準備って
こんなに大切
なんだ...

濃度も選べる!

「環境設定」で
配色テーマを
変更するのも
地味に重要な
作業...

CLIP STUDIO PAINT
Ver.1.11から
待望の復元機能も
ついたぞ!
保存間隔も任意で
設定可能だ

「素材」も
仕分けておけよ
修羅場で自分を
褒めなくなるぞ...

はいじゃあ
新規キャンバスを
せっかちさん
馬鹿野郎!!!

なにするん
ですかあ!!
あたま
掴まないで
くださいよ!!

初回起動...

一度しかない
その時に
すべきこと
それは...

な...
それ...
それ...?

環境設定だ

オオオ

なるほど
ちまちました作業
わりと好きだから
楽しいかも!

でもこれ
設定だけで丸一日
かかっちゃうぞ...

そうだな

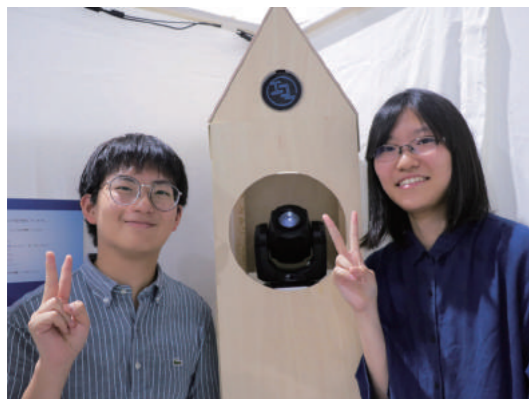
燃えてきた!貸せ!
1匹の狂いなく
ウインドウサイズを
合わせてやるぜ!!!

あ...
そっちね...?

俺も好きだ

心臓がいー☆

「アート & テクノロジー東北 2018」にて優秀賞を受賞



7月21日に岩手大学で開催されたメディアアートのコンテスト「アート & テクノロジー東北 2018」にて、渡邊哲意研究室の安富遥さん(3年生)と仲村悠作さん(1年生)のチームが、『peight (ぺいと) シリーズ エコー』で優秀賞を受賞いたしました。本作品はAI搭載のスマートスピーカー『Amazon Echo』を使っています。呼びかけると、ムービングライトが反応する姿はまさに「未来のペット」です。2016年には本学の2組の学生が奨励賞を受賞しています。

Dr.イムさん『死ノ鳥』第一巻発売
川上十億さん『踊る! 狂気のJK
カーリーちゃん』第二巻発売



9月4日、マンガ領域 2013 年卒業生の Dr.イムさんの連載漫画『死ノ鳥』第一巻が集英社から発売いたします。現在「少年ジャンプ+」にて連載している戦慄のパニックホラー作品です。
9月7日、マンガ領域 2013 年卒業生の川上十億さんの漫画『踊る! 狂気のJKカーリーちゃん』第二巻が新潮社から発売いたします。「月刊コミック@パンチ」にて連載していたコメディ漫画で、最終巻となります。

川端新さんの漫画
『月光社ボーレイ奇譚』連載開始

8月6日に発売された「月刊ミステリーポニータ」(2018年9月号)より、マンガ領域 2011 年卒業生で本学にて講師を務める川端新さん(ペンネーム)の漫画『月光社ボーレイ奇譚』の連載が始まりました。昭和初期を舞台とした魅惑のミステリアスドラマです。
昭和初期——。
姿から声まで他人に変装して代行業を請け負う『月光社』。そこで働く神保レイ子のもとに変わった代行業依頼が…!?



YouTuber“あさぎー”
「前代未聞の記者会見」に協力



SNS上で活動の場を広げ、クリエイティブアーティストとして活躍しているあさぎーによさんの記者会見に、渡邊哲意研究室が協力いたしました。新曲『Kitai』を収録した世界初「QR パジャマ」販売の発表に約 100 名のクリエイターやインフルエンサーが集まり、前代未聞の記者会見となりました。会見は7月22日に本学にて実施され、同研究室ではバックパネルや映像投影の準備など会場の設営に携わりました。研究室では今後も彼女のサポートを続けていきます。

海の家ウォールアートを
フォトジェニックに演出



デザイン表現研究室の教員と学生が、江ノ島(神奈川県藤沢市)の東浜海水浴場に初出店した海の家「Ocean Front」のウォールアートを手掛けました。2日間かけて店の外壁などに描いたウォールアートは、蛍光色を取り入れた彩り鮮やかなハート柄で埋め尽くされたデザインで、人目を引く非日常的な空間を演出しています。一部ハートの形を変えて描いたスポットは、“投げキッス”などのポーズを合わせて撮影することで、フォトジェニックな写真を撮ることができます。



10周年を迎えた「みなとメディア
ミュージアム 2018」開幕

8月19日～9月8日、茨城県ひたちなか市ひたちなか海浜鉄道湊線沿線を舞台に開催されるアートイベント「みなとメディアミュージアム 2018」に、教員と学生が運営メンバーとして参加しています。本企画では、海外でも活躍する気鋭のアーティストによる作品が那珂湊駅やまちなかを中心に展示されています。学生は大学で学んだ様々な表現を活かして制作にわり、展示をサポートしています。本プロジェクトを通して、ひたちなか市の活性化を目指します。

毎年恒例! 学内ライブイベント
「ビギニングサマー」開催

7月23日、各サークルや同好会などの学生団体による合同ライブイベント「ビギニングサマー」が、学内にて今年も開催されました。イベントは軽音サークルやコスプレサークルなど全7 団体が参加。1年生中心のステージパフォーマンス、演奏、ダンス、映像作品を披露し練習の成果を発揮しました。当日は多くの学生が参加し、学年や領域の垣根を超えた交流が深まる場にもなっています。前期の授業や課題を終え、平成最後の夏の始まりを大いに盛り上げました。



『ART GALLERY
テーマで見る世界の名画』

青柳 正規 / 著 渡辺 晋輔 / 著
2017.9 集英社

10のテーマごとに構成された美術全集です。第1巻「ヴィーナス」では、多種多様なヴィーナスを見比べることができ、多くの画家を魅了するテーマであることが伺えます。表現方法の違いや、モチーフ、構図の類似性など、新たな発見が得られるかもしれません。図版は大きく、見ているだけでも楽しめます。

司書オススメ!



『魔法が使えなくても』

紀伊 カンナ / 著
2018.7 祥伝社

高校生時代にしか味わえない甘酸っぱくて切ない青春にまつわるオムニバス形式の短編集です。ふだんは少年マンガを読むことが多い方でも自然に読み進めていけると思います。もともとお気に入りの作家さんで、絵柄が好みなのでそこもおすすめです。

茅川 菜奈さん
オススメ!



読書のすゝめ

宝塚大学の司書、講師、学生からそれぞれおススメの本をご紹介します!! すべての本は宝塚大学の図書室に所蔵されているので、ぜひ読んでみてください。

『論語』

孔子 / 著 金谷 治 / 訳注
1999.11 岩波書店

「知っていることを知っていると言えること、そして知らないことを知らないと素直に認めること。これが『知る』ということの本当の意味だ」と言う意味の記述が印象的です。しっかりした知識を蓄えてそしゃくし、次に活かしていくことを繰り返す。一流のクリエイターを志す皆さんにぜひ覚えていただきたい一節です。

篠田 雅人先生
オススメ!



Lecture
授業潜入記 No.05
TAKARAZUKA

水墨画
はこんな授業だった!

編集委員の感想

学生たちは真剣な表情で紙に筆を走らせていました。同じ道具、画材を使いながらも個性に富んだ作品が並び、同じ葡萄がひとつとしてありませんでした。デジタル技術が進む中で、学生からは「こういったアナログ技法を学ぶことは新鮮な感覚」という感想がありました。

身につく力は

デジタル技術が進む中で、「筆」というツールを使いアナログな技術を身につけます。色のグラデーションの付け方や、力加減で変わる表現、古典的な水墨画の技法から空間把握までを身につけます。

この日の授業内容

「葡萄」をテーマに実際に水墨画のように描く練習をしました。李先生のお手本を見て学ぶところからスタート。和紙のような特殊な紙を使用し、筆の感覚を味わいながら描き進めていきます。

どんな授業

水墨画の技術を通してアニメやイラストレーションに役立つ表現方法を身につけます。普段あまり使わない筆を使って、色の濃淡や筆使いを学んでいきます。

就職室の
駆け込み寺

「大企業と中小企業って?」

皆さんや親御さんが思いつく企業名の殆どは大企業といえるでしょう。左の表からも分かるように日本の企業は99.7%が中小企業で、そこに労働者の約7割の人が働いています。テレビCMなどで耳にする大企業は全体の0.3%に過ぎず、新卒求人倍率も0.7社で狭き門になります。大企業、中小企業、それぞれにメリットとデメリットがあります。日本には知名度は低くてもグローバルに展開する優秀な中小企業が数多くあります。そのため企業研究も就活生にとっては大事な就職活動です。中小企業の発達している日本や米国、台湾は国力(経済的な豊かさ)があるとされています。私たち日本人が豊かな生活を楽しむのも、世界に通用するモノづくりNipponの中小企業が多く発達しているのおかげとも言えるのです。

大企業	中小企業
1,000社以上 (0.3%)	3,809,000社 (99.7%)
1,433万人 (30%)	3,361万人 (70%)
0.71倍	3.43倍

※中小企業とは↓製造業:資本金3億円以下、従業員300人以下
卸売業:資本金1億円以下、従業員1000人以下
小売業:資本金5千万円以下、従業員500人以下

編集後記

二十十日を間近にし、台風情報に気を配る季節となりました。ジメジメとした日が続いていますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。今回限定で裏表紙を宝翔祭ポスターへ変更いたしました! 在学生の皆さん、宝翔祭準備期間が始まりますね。読者の皆様はぜひ遊びに来てください。それでは、次回もよろしくお願ひします。

東京2020
オリンピック・パラリンピック
連続表紙企画



『セーリング』
作画:O.Z.O (3年)

Director
渡邊 哲也 (本学教授)
金澤 英樹 (本学職員)

Editor
ミネシゴ (フリーライター)
瀧瀬 彩恵 (フリーライター)
宇部 佑哉 (本学職員)
宮幸 仁美 (本学職員)

Art Director
石川 雄仁 (本学助手)
坂口 茜 (教務助手)

Assistant Director
色部 桜子 (2年)

Designer
芦川 梨紗 (3年)
関口 愛理 (2年)

『ソカまん!!』
原作:ストーリー文化研究室
作画:宮々瀬 遊 (4年)